

ニュース・年間行事

■2009年

○10月29日 エクソンモービルと共催で、“インフレーション多層フィルム成膜実演展示会（大阪）”を開催

・アジア・オセアニア市場開拓の強化を図っているホソカワアルピネジャパン(株)とエクソンモービル社は、両社共通の目的から協力して『インフレーション多層フィルム成膜展示会』（大阪）を開催した。

○11月9日 ニュースリリース：【新商品】高浸透性頭皮料「ナノインパクトTera 2.0」サントリーウエルネス社から新発売

・品質をよりグレードアップし、頭皮への浸透性を一段と向上させた高浸透性頭皮料【新商品】『ナノインパクト Tera 2.0』を発売することになった。本新商品は、サントリーウエルネス株式会社と商品取引基本契約を締結し、同社の通信販売において、11月10（火）から販売を開始した。

○12月4日 第7回新機械振興賞“グランプリ”（経済産業大臣賞）を受賞

・当社が、日精(株)および共和真空技術(株)と共同開発した『密閉型凍結乾燥無菌粉末製造システムICS / FD (Integrated Closed System / Freeze Drier)』が「第7回機械振興賞」でグランプリ（経済産業大臣賞）を受賞した。

○12月8日 第16回ホソカワ粉体工学シンポジウムの開催

・枚方本社の12階にて、「電池性能向上の鍵を握る粉体技術」をテーマにした4件の講演があり、133人の参加があった。

■2010年

○1月13日 ニュースリリース：【新製品】高浸透型発毛促進剤「薬用 ナノインパクト WTera」および「薬用 ナノインパクトWTeraレディ」を新発売

・品質をよりグレードアップして昨年11月に発売を開始した「頭皮料 ナノインパクトTera 2.0」に続き、医薬部外品の【新製品】高浸透型発毛促進剤『薬用 ナノインパクトWTera(ダブルテラ)』を発売することになった。

○1月25日 ニュースリリース：世界最高レベルのナノテク先進消防服を共同開発

・NEDOのナノテク・先端部材実用化研究開発事業の一環として、帝人テクノプロダクツ株式会社と当社は、ナノ構造ファイバーを適用した速熱性・快適性に優れた消防服素材を開発した。

○2月17～19日 nanotech 2010への展示

・ナノ粒子合成装置研究開発用ナノクリエーターFCM-MINI, ナノリスク対応局所排気装置セーフティブース, ナノ粒子複合化装置研究開発用ノビルタNOB-MINI, ナノ粒子応用商品薬用ナノインパクトダブルテラ・ナノクリスフェア, ナノ粒子関連事業, 燃料電池 (SOFC) の開発実績ほか最先端の研究開発を展示。

○4月12日 第62回化学技術賞を受賞

・当社の研究担当部員4名が研究・開発テーマ『炎症法を用いた多成分複合酸化物ナノ粒子合成装置の開発』で第62回化学技術賞を受賞した。

○4月13日 ニュースリリース：金属コンタミ“ゼロ”の高性能耐摩耗オールセラミックス型微粉砕機を開発

・開発した耐摩耗オールセラミックス型微粉砕機ACM-HC型は、ステンレス製のケーシングにセラミックス製の粉砕ロータ（バー型ハンマー）、分級ロータ、ライナー、ガイドリングおよびミルカバーを組み込むとともに、構造上最も懸念される粉砕ロータ取り付け部分は接着剤を用いずに分解組立構造として、これまでの問題を解決した。

○4月27～29日 Powtech2010への展示

・化学、医薬、食品、セラミックスなど全産業分野に関わる、世界最大規模の粉体機器関連の見本市「Powtech2010」が開催された（会場 ドイツ ニュルンベルク）。同展示会にホソカワミクロングループとして出展し、ホソカワミクロングループの最新技術及び製品を展示した。

○5月20日 故 細川 益男会長の「お別れ会」の開催

・3月31日に亡くなられた故細川 益男会長の「お別れの会」が5月20日リーガロイヤルホテルに約1,600名の弔問客をお招きして開催された。一介の鉄工所を、「粉体技術連峰の形成」を基本に、粉体技術分野における世界ナンバーワンの国際企業に育て上げた素晴らしい経営者であった。

○9月6日 第44回粉体工学に関する講演討論会の開催

・財団法人ホソカワ粉体工学振興財団の主催で、第44回粉体工学に関する講演討論会が東京ガーデン

パレスにて開催された。今回のテーマは「ナノパ
ティクルハンドリング技術が産み出す新材料」。
参加者134名。

○9月9日 ホソカワビーベックス社（ドイツ）の製
菓関連事業新テストセンター完成

・製菓関連事業の強化を目的として、海外子会社ホ
ソカワ ビーベックス社（ラインガルテン、ドイ
ツ）で建設中であった新テストセンターが完成し
た。新テストセンターでは、新機種が加えられる
とともに、原料調理工程から最終製品完成までの
一貫したシステムのテスト装置が設置され、いわ
ゆるOne-Spot-Shopping（一箇所ですべてを提供で
きる）体制が構築された。

○9月14日 ニュースリリース：ナノ粒子技術を駆使
して開発した「浸透型頭皮料」の育毛効果をヒトで
確認

・当社の製薬・美容科学研究センターとサントリー
ウェルネス(株)サントリー健康科学研究所とが共同
で、PLGAナノ粒子配合浸透型頭皮料に育毛効果
があるという知見を得たので、「第61回日本皮膚
科学会中部支部学術大会」(9月11日・12日、大阪)
で発表した。

編 集 後 記

昨今、リチウムイオン二次電池が、携帯機器だけ
でなく自動車にも使用されることが具体化しつつあり大
きな関心が寄せられる中、太陽電池の普及も徐々に浸
透し、さらに2009年から固体高分子形の燃料電池が家
庭用に上市され、環境・エネルギーの観点から新しい
時代を迎えつつあることが伺えます。そしてこれらの
電池材料関係にも粉体材料がいろいろな形で使われ、
その特性が製品性能に大きな影響を及ぼすとのこと
で、その貢献が大いに期待されています。

一方、2010年には上海で万国博覧会が開催され、
1970年の大阪万博を超える7000万人以上の来場者が
あったとのことですが、中国、インドを始め振興国の
勢いには改めて目を見張るものがあります。GDP（国
内総生産）も、2010年には中国が日本を追い越す勢い
です。このような激しく変化する状況の中、レアア
ースを含む地下資源の乏しい日本は、やはり、千恵と技
のプロセッシングで他国の技術を凌駕しつつ世界に貢
献していくことが必要と思われまます。

本号は、2009年12月に開催された第16回ホソカワ粉
体工学シンポジウム、ならびに2010年9月に大阪で開
催された第44回粉体工学に関する講演討論会の講演内
容を特集として編集されています。昨年は、No.53を
Webジャーナルのみで出版し、印刷物の出版、配布
を見送ることになりましたが、やはり手軽に読める紙
媒体での出版の要望が多く、今回は紙媒体での出版を
再開することになりました。本誌につきまして、ご意
見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局まで
ご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願い致しま
す。

“粉碎” No.54 (2011)

2010年12月18日 発行

編集発行責任者 横山 豊和

発行所 ホソカワミクロン株式会社

大阪府枚方市招提田近1丁目9

電 話：072-855-2307

F A X：072-855-2561

印刷所 (株)NPCコーポレーション

大阪市北区天満1丁目9-19
